

プログラム参加報告

今回の研修では、様々な大人の方々やTOFUのメンバー、先輩方と学びを共有し対話を通して自分の視野を広げることができました。この経験と学びを次の活動に活かし、日米だけでなく世界をつなぐことのできる人材として社会に貢献したいです。

私は米軍基地のすぐ隣に住んでおり、小さい頃からオスプレイの騒音や米軍関係者、そして基地に反対する地域住民の活動を身近に見てきました。だからこその当たり前の存在となっている米軍基地がなぜ無くないのか、そこにはどのような意義があるのかを考えたと思います。TOFUプログラムに応募しました。

プログラムでは、日米双方の専門家や世界の最前線で活躍する方々との交流により、グローバルな環境で働くことへの憧れが強まると同時に、私たちが平和に暮らしているのはこのような方々の支えがあつてこそなのだと思ひ、尊敬と感謝の気持ちを抱きました。この時代においても大切なものは「排除ではなく共存」であると考えています。そしてその考え方が世界に平和をもたらすのではないかと思います。これはTOFUプログラムで学んだ世界情勢や安全保障、日米同盟のあり方を通して導き出した私なりの答えです。



みやぎ たお
宮城 多桜さん



いしかわ たかと
石川 嵩翔さん



とくもり おとは
徳森 乙葉さん

今回のプログラムに参加し、私はアメリカに対しての考えを改めるきっかけになりました。

プログラム参加前は「アメリカファースト」という言葉の印象が強く、「自国を優先して周りをあまり見ていない国」という偏見を持っていました。

しかし、実際にこの地でアメリカを感じたことにより、その偏見は大きな間違いだったと気づかされました。現地の様々な価値観を持った多くの人と交流したことで、多くの問題や対立は「互いの意見や考えが十分に伝わっていない」ことから生まれている、だからこそ話し合いを通して相手のことを知ろうとする姿勢がとても大切なのだと感じました。

違う意見を持つ人と話してみると、相手の背景を知り、自分自身の考えを見つめ直すことができました。私のTOFUプログラムはまだ終わっていません。

今回のプログラムを通して、私は「争つこと」ではなく、「まずは相手を知ろうとする」という未来を良くする一歩なのだと考えます。アクションプランを通じて色々な人に「互いの意見を尊重し、理解し分かち合える」経験をしてもらつたなど、これからは、自分が「カケハシ」を渡す人から人と人をつなぐ「カケハシ」を作る人になれるよう努力していきます！

TOFUプログラムに参加し、外交に関わる方々との意見交換や視察を通じて文化、歴史、政策等に対する双方の視点を理解し、多くの気づきや学びを得ることができました。

現在生じている対立の多くは、互いに納得できる解決策が見出せず、どちらかが妥協や苦痛を強いられる状況にあります。こうした認識の違いから生じる摩擦を減らすためには、相互理解が必要不可欠だと強く実感しました。また、立場が違えば追求する利益も異なりますが、それは国家間に限らず日常のあらゆる場面においても共通することだと思います。対話の着地点を探り、共通の利益を見出すこそが、困難であろうとも私たちが目指すべき理想の姿だと感じました。

そこで、対話の場を提供する機会を作り、増やしていくことが「沖縄のより良い未来を創る人材」を増やす第一歩だと考え、現在は学生を対象とした意見交換型授業の実施に向けてグループで取り組んでいます。

今日まで築かれた沖縄と社会をつなぐ大きな架け橋を次世代へと続くものにするために今後も活動していきます。最後に本プログラムに関わる全ての方々に心から感謝申し上げます。



第8回 「アメリカで沖縄の未来を考える(TOFU)」プログラム参加報告

TOFUプログラムで学ぶ沖縄の未来

外務省による海外派遣プログラム「TOFUプログラム」※が令和8年3月18日〜25日に実施されました。第8回目となる今回、本市からは高校生・大学生3人が参加し、ワシントンDC・ニューヨークを訪れ、日米関係に携わる実務家やその他国際社会で活躍する有識者への面会、各種機関の視察等から得た日米関係に対する現場ならではの認識に基づき、沖縄その他社会の思索を深める貴重な契機となりました。

※TOFUプログラムとは

「アメリカで沖縄の未来を考える(TOFU: Think of Okinawa's Future in the U.S)」プログラムの略称。沖縄の将来を担う高校生・大学生を米国に派遣し、米国政府関係者との意見交換や米国の代表的な歴史・文化施設等の視察を通じて、語学としての英語力向上を図るとともに、英語を用いて様々な分野について学ぶ教育機会を提供し、よりグローバルな視点を深めてもらうことで、国際社会で活躍する沖縄の人材育成を行うことを目的としています。

〈写真①〜⑦について〉

- ① コロンビアハイッ・エデュケーショナル高校訪問
- ② 米国連邦議会訪問
- ③ 米国連邦議会訪問
- ④ アーリントン国立墓地訪問
- ⑤ 国連ツアー
- ⑥ メモリアル&ミュージアム見学
- ⑦ 国務省訪問

- プログラム日程(主な訪問場所)
- 3/18(東京)
 - ・官邸・外務省・防衛省
 - ・外交史料館・読売新聞本社
 - 3/19(ワシントンDC)
 - ・コロンビアハイッ・エデュケーショナル高校
 - ・戦略国際問題研究所(CSIS)
 - 3/20
 - ・米国連邦議会
 - ・アーリントン国立墓地
 - ・国務省・日本大使館
 - 3/21
 - ・ジョージ・ワシントン大学
 - ・記念碑・慰霊碑見学
 - 3/22(ニューヨーク)
 - ・メモリアル&ミュージアム
 - 3/23
 - ・ジャパン・ソサエティ
 - ・国連
 - ・在ニューヨーク日本国総領事館
 - 3/24
 - ・移動
 - 3/25
 - ・解散